

【普通科2年生津和野研修】1日目 令和4年7月7日(木)

島根県立松江北高等学校魅力化事業の一環として昨年度に引き続き、普通科2年生津和野研修を計画しました。

班別研修 津和野共存病院実習

はじめに副院長飯島献一様よりお話しいただきました。総合診療や地域包括ケア、認知症など津和野の医療活動に直に関わっている先生からのお話はとても説得力がありました。津和野は超高齢化社会の最先端を行っている町であるが、それだからこそ世界の最先端の医療を体験できることを学びました。病院食をいただきましたが、この日は七夕で行事食という豪華な食事で生徒も大変喜びました。そのあと、森鷗外記念館へ移動し、職員の方から森鷗外の一生を詳しく教えていただきました。軍医として作家として頂点を極めた人物ですが、最後は石見の人間として死んでいった人柄まで勉強できました。最後に、旧畑迫病院に行きました。昭和の終わりまで使われてきた病院で、昔ながらの医療器具が展示してあり、現在の医療の進歩を感じることができました。



班別研修 石見神楽入門

6人の北高生に対し、3つの社中から合計8人の方に来ていただきました。30度を超える暑さの中、半屋外に設置してあるステージで、まずは演目「大蛇」の一部を観させていただきました。その後、スサノオ役1人、大蛇役5人にわかれ、マンツーマンで約3時間指導を受けました。スサノオ役は視線や声の出し方を含めた一挙手一投足にこだわり、休憩時間も惜しんで練習に励んでいました。大蛇役は予想していたよりもはるかに重い12キロ、全長約17メートルの「蛇胴」を1人1体取り付けた上で、後半は視界や呼吸が遮られるような面をかぶりながら、汗だくで大蛇の動きに取り組みました。最後に太鼓の音に合わせ、10分近くの演技に挑みました。何とかやり切った生徒たちの顔には、達成感が溢れていました。講師の方々の神楽に対する情熱に触れ、実際に体験することで、生徒一人ひとりの「ものさし」(=価値観の幅)が大きく広がった時間となりました。





## 班別研修 津和野メロンパーク農業体験

はじめに代表取締役渡邊利生様より、メロンパークで作っておられるメロンの品種や物流などについて概要をお話しいただきました。メロンを安定的に生産し、消費者の手元に届けるまでには、様々な困難や工夫があるということがわかりました。その後実際にビニールハウスに入ってメロンやブドウを見せていただき、午後からは一玉一玉、メロンが日に焼けないよう、新聞紙をかける作業をしました。ハウスの中はとても暑く、一時間程度の作業でしたがみんな汗びしょりになりました。最後に農薬をまくためのドローンを実際に飛ばすところまでを見せていただき、普段の生活では味わえない経験や知識をたくさん得ることができました。現代において私たちは様々なモノをより簡単に手に入れることができるようになりましたが、その背景には作り手の思いや並々ならぬ努力があるということを再認識することができました。



## 津和野高校生徒との交流

班別研修後、津和野高校の生徒との交流をしました。まず、学校に着くと、津和野高校の先生だけでなく、津和野高校の生徒や高校に隣接する塾 HAN-KOH のファシリテーターの方から温かい歓迎を受けました。「地域系部活動」グローカルラボという地元の方々に関わる生徒たちに 3 階の視聴覚室までの案内していただき、会場に着くと、多数の津和野高校生がすでに椅子を丸く並べるなどして、会場を準備して待ってくださっていました。交流では両校の学校紹介の後、アイスブレイクをしてから、部活、行事、総探などカテゴリーに分かれて、意見を交換しました。元気な津和野高校生との交流はあっという間で、しゃべり足りない間にお別れの時間になりました。バスで帰るときは、多くの生徒や教職員の方々が昇降口から見送ってくださり、とても温かい気持ちになりました。



津和野高校様、津和野共存病院様、津和野神星会様、津和野メロンパーク様、ご協力どうもありがとうございました。



【普通科2年生津和野研修】2日目 令和4年7月8日（金）

### 津和野町で活躍する大人との座談会

津和野町で活躍する大人の方との座談会では「つわの生き方座談会」と題して、4名の方のお話を伺いました。それぞれの方がそれぞれの人生を送る中で、津和野町に行き着き現在生活されている経緯や人生観についてフリップを使って説明していただいた後、生徒の質問に答えていただきました。講師の方全員に共通していることは、皆さんの表情や口調から、生き方に芯を持っていることや、津和野での今の生活に満足し生き生きと日々を過ごしておられる様子が伝わってくることでした。生徒たちはそのような人生の先輩へ安心して質問をし、心に触れた言葉をしおりにメモしていました。生徒たちは、座談会の大人の方々の生き方から多くの言葉を受け取りました。

山岡浩二様、リコッタ瑠美様、尾添千穂様、舟山宏輝様、貴重なお話をしていただきありがとうございました。



### 振り返り

最後は、コーディネーター山本竜也様に教えていただきながら、マインドマップを用いた「振り返り」を行いました。今回の研修で自分が経験したことをキーワードにしなが、様々な色のマジックを使用し、木の枝のように横へ横へと広げながら描くことで振り返りをしました。生徒たちは思い思いのマインドマップを時間をかけて描き上げて、最後に3、4人組になり学んだことをシェアしました。生徒たちはこの研修から、「ありのままを見る目を育てたい」、「自分と対話することの大切さ」、「人と出会いコミュニケーションをとることの大切さ」など、人と対話や体験することでしか得られない大事なものを得ることができました。

